

中国法定感染症発病概況 2018 年 7 月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.
リサーチ・コンサルティング部門

■発病総数は例年より多い

当月発病総数は 866,072 例であり、前月比-2.8%減少。過去平均(過去3年の同月および前後月の9カ月平均)比では 17.0%で、過去平均標準偏差(SD) 1.4 であり、総数としては例年より多い。(図表 1)

■乙類は例年より若干多く、丙類は例年より多い

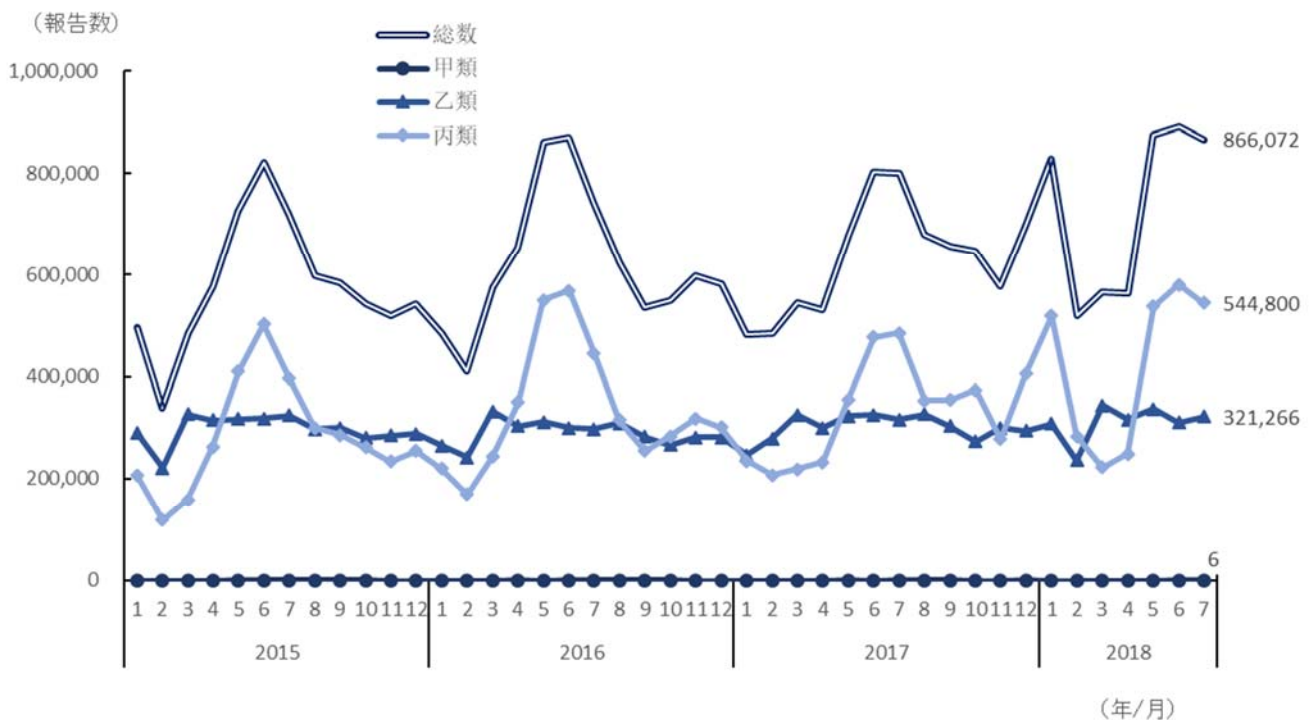
類型(甲乙丙)別*では、甲類でコレラが 6 件発生。

乙類は 321,266 例(前月比+3.7%)、過去平均比+2.8%、過去平均 SD+0.8 であり例年より若干多い。

丙類は 544,800 例(前月比-6.2%)、過去平均比+27.5%、過去平均 SD+1.4 と例年より多い。(図表 1)

* 中国では、病気のうち 39 の感染症を甲類で 2 つ(ペスト、コレラ)、乙類 26、丙類 11 に分類。2013 年 11 月 1 日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09 を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザ A(H7N9)を追加。2016 年 1 月からは、ウイルス性肝炎の内訳に D 型肝炎を追加。(本資料のウイルス性肝炎は、A 型、B 型、C 型、D 型、E 型、その他肝炎を合算。)

図表 1 発病数

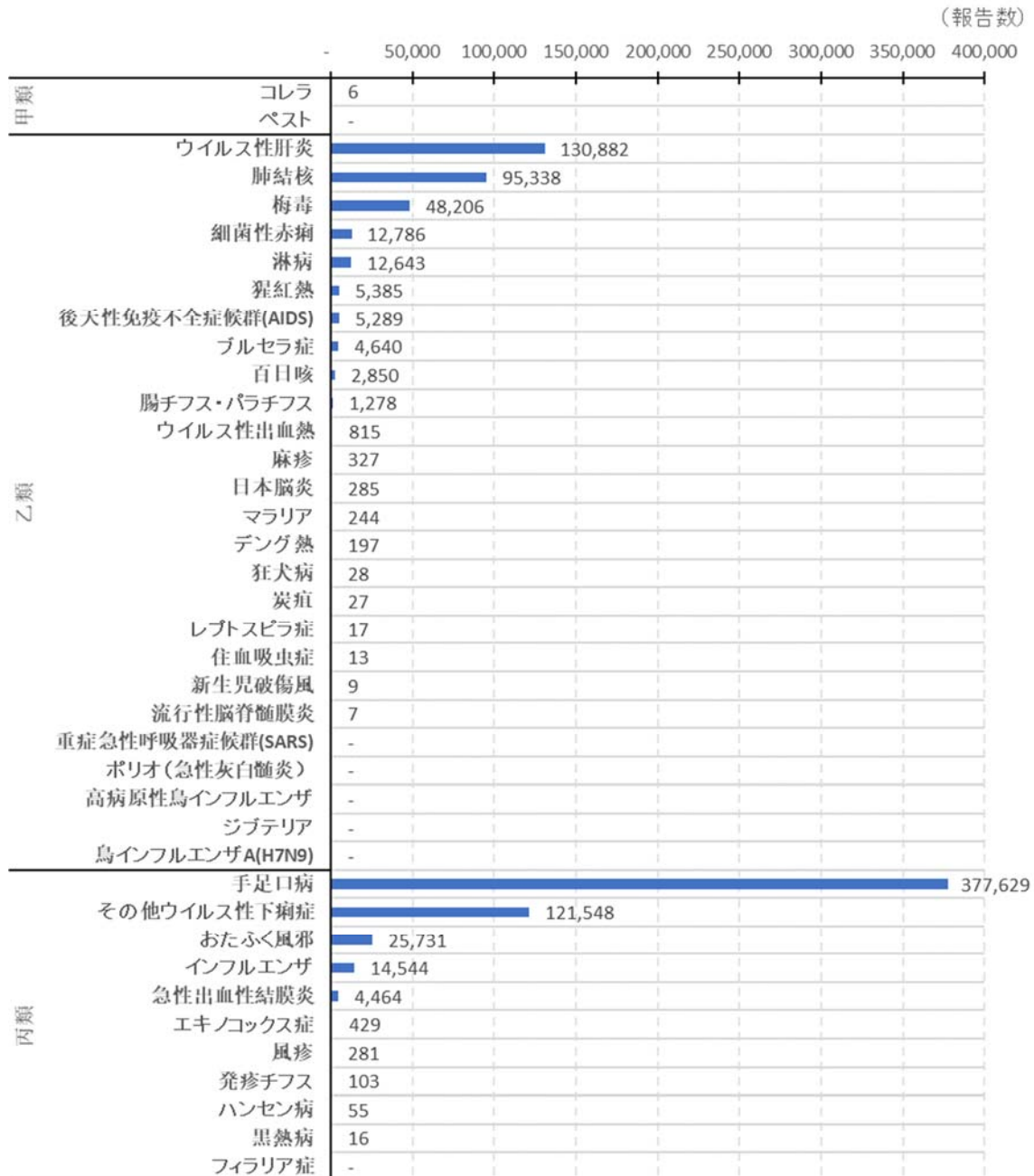


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■「手足口病」が当月最多発生で、例年よりも多い

感染症別では、手足口病が 377,629 例であり、前月比-10.7%と減少。また、過去平均比（過去 3 年の同月および前後月の 9 カ月平均）では+36.1%、過去平均 SD+1.1 であり、発生数が多い（図表 2、図表 3）。

図表 2 感染症別：発病数（当月）
〈類型別降順〉

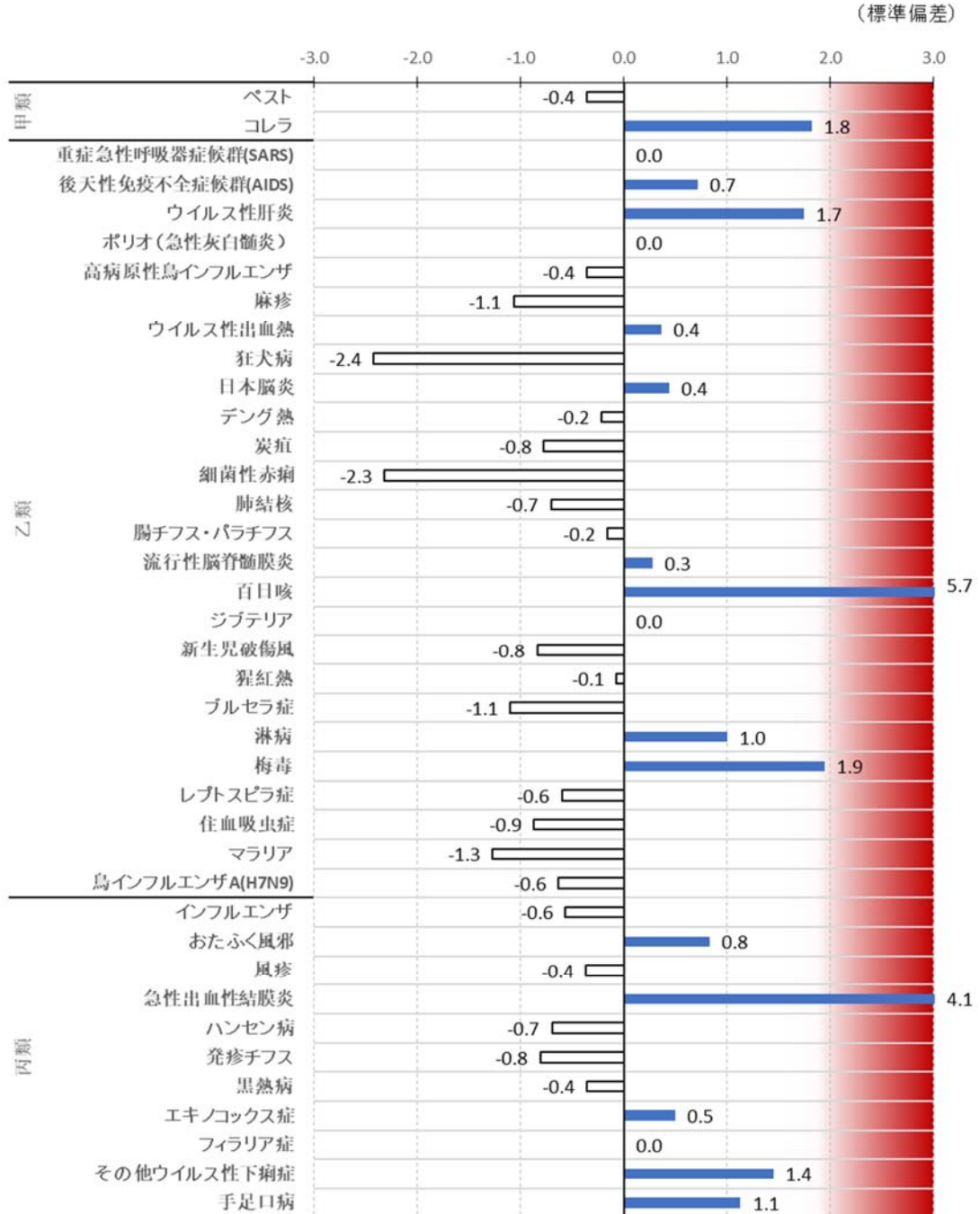


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■百日咳が例年に比べ非常に多く発生

例年に比べ非常に多く発生（過去平均SDが+2.0以上）した感染症は、百日咳のみ。（図表3）。

図表3 感染症別：過去平均SD（当月）
〈統計記載順〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■百日咳: 15 カ月連続で例年より非常に多く発生

百日咳は2,850(前月比+44.5%)で、過去平均比+211%、過去平均SD+5.9であり15カ月連続して、例年より非常に多く発生(図表4)。

図表4 発病数(百日咳)

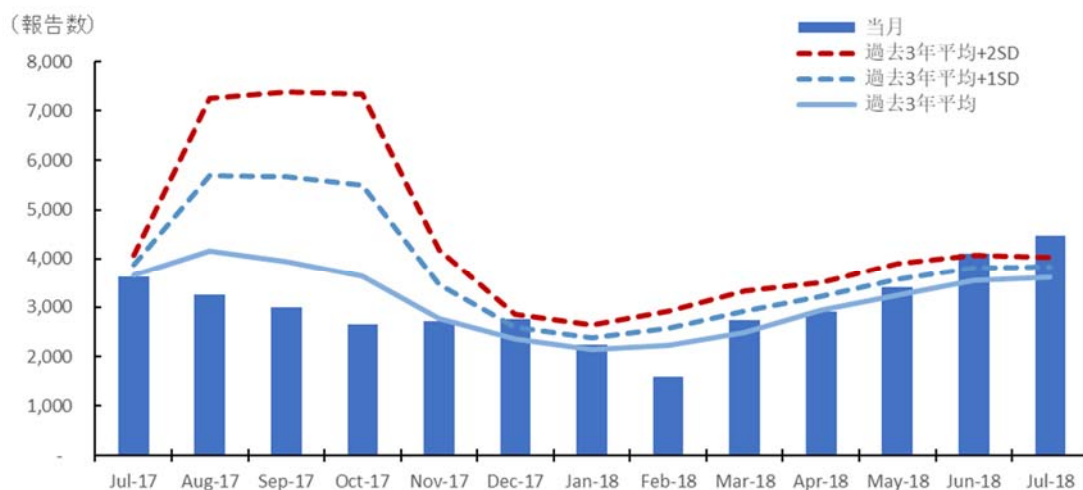


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■急性出血性結膜炎: 2 カ月連続で例年より非常に多く発生

急性出血性結膜炎は4,464(前月比+8.6%)で、過去平均比+23.5%、過去平均SD+4.1であり、例年より非常に多く発生(図表5)。

図表5 発病数(急性出血性結膜炎)



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

参考：発病統計表(2018年07月)

病名	発病数	病名	発病数
甲乙丙類総計	866,072		
甲乙類合計	321,272	丙類合計	544,800
ペスト	-	インフルエンザ	14,544
コレラ	6	おたふく風邪	25,731
重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	風疹	281
後天性免疫不全症候群(AIDS)	5,289	急性出血性結膜炎	4,464
ウイルス性肝炎	130,882	ハンセン病	55
A型肝炎	1,587	発疹チフス	103
B型肝炎	103,809	黒熱病	16
C型肝炎	21,499	エキノコックス症	429
D型肝炎	33	フィラリア症	-
E型肝炎	2,386	その他ウイルス性下痢症	121,548
未分類型肝炎	1,568	手足口病	377,629
ポリオ(急性灰白髄炎)	-		
高病原性鳥インフルエンザ	-		
麻疹	327		
ウイルス性出血熱	815		
狂犬病	28		
日本脳炎	285		
デング熱	197		
炭疽	27		
細菌性赤痢	12,786		
肺結核	95,338		
腸チフス・パラチフス	1,278		
流行性脳脊髄膜炎	7		
百日咳	2,850		
ジブテリア	-		
新生児破傷風	9		
猩紅熱	5,385		
ブルセラ症	4,640		
淋病	12,643		
梅毒	48,206		
レプトスピラ症	17		
住血吸虫症	13		
マラリア	244		
鳥インフルエンザA(H7N9)	-		

(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではありません。また、2018年8月13日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。

中国法定感染症発病概況 2018年7月

Copyright (C) 2018 The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd. All Rights Reserved.